

令和4年5月25日

令和3年度日本語試験実施状況報告書
【国際交流基金日本語基礎テスト】

独立行政法人国際交流基金

1 試験実施概要

別紙のとおり

2 試験実施主体（外部機関に試験実施を委託している場合には、その委託先機関を含む。）

独立行政法人国際交流基金

ただし、試験のC B T（コンピューター・ベースド・テスト）方式化（以下「C B T化」という。）及び試験実施に係る業務は、C B Tサービスを提供する事業者（プロメトリック株式会社）に業務委託を行った。

3 試験問題作成体制

日本語教育ないし言語教育等を専門とし、日本語教育（日本語教材、テスト等開発を含む。）に従事した経験を有する国際交流基金の日本語教育専門員が、試験問題の作成を担当した。作成された試験問題案について、日本語教育ないし言語教育等を専門とし、日本語テスト関連業務に従事した実績を有する外部専門家（3名を国際交流基金が委嘱）の確認を受け、試験問題を確定した。

4 試験申込方法（申込手順、定員数を超える受験希望者がいた場合の対応）

試験申込は、専用ウェブサイト希望日時と会場の空席情報を照らし合わせて申込者がオンラインで行い、受験料はクレジットカード決済等オンライン決済ないし現金で徴収した。

また、ネパールにおいては、バウチャー購入の先着順受付を行った。

5 試験実施体制

試験のC B T化及び試験実施に係る業務は、C B Tサービスを提供する事業者（プロメトリック株式会社）に業務委託を行った。同事業者は、試験会場の手配、試験監督者等会場要員の手配、受験予約の受付、試験当日の会場運営

(受験者の本人確認を含む。)、試験問題の配信、結果通知等、試験に関する事務を実施した。

国際交流基金が設置する、日本語教育やテスト理論の専門家による有識者委員会から、試験の実施状況に対する助言を聴取し、試験の適切な運用に役立てた。

6 試験水準

『特定技能』に係る試験の方針について」に定められた、基本となる日本語水準を測る以下の尺度にのっとり、ある程度日常会話ができ、生活に支障がない程度の「学習、教授、評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠」(CEFR) A2レベル相当の日本語力を持っているかを判定した。

- ・ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。
- ・簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。
- ・自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。

7 合否の基準

総合得点の10点から250点の得点範囲において、国際交流基金が定める判定基準点(200点)を超えていることとした。

8 合否の通知方法

試験終了後、試験会場のコンピュータ画面上で試験結果を表示するとともに、後日、結果通知書(受験番号、氏名、生年月日、性別、国籍、顔写真、受験日、受験地、結果通知書の発行者、試験名、試験結果・得点等の基本情報を含む。)を専用ウェブサイト上で発行した。

9 試験結果の公表方法

試験1回ごとに、試験の実施日、実施場所等の実施概要と、受験者数、基準点到達率等の試験結果データを、国際交流基金が運営するウェブサイトで公表した。

10 合格証明書発行・交付手数料の有無及び方法(手数料を徴収している場合は、その額を含む。)

専用ウェブサイトにおいて結果通知書を発行していることから、合格証明

書は発行していない。

なお、結果通知書交付について、手数料は徴収していない。

1 1 試験の適切な運用に向けた取組状況

(1) 具体的な取組状況等（試験実施主体に対する指導監督状況、当初予期しなかった不正行為への対策、不正等が発覚した場合における合格取消措置等）

ア 試験申込段階

① 当初からの取組状況（当初の対応策・不正防止策）

試験会場で個人認識ができる公式書類を照合することを前提として個人情報を入力させる仕様とした。

② 発生した問題等（不正行為の発覚を含む。）の内容とその対応
上記①の対応策により、不正の発生を防止することができた。

③ ②を踏まえた新たな改善策の内容

引き続き、業務委託先を通じて、上記①の対応策を徹底する。

イ 受験者の本人確認段階

① 当初からの取組状況（当初の対応策・不正防止策）

予約時の受験者が本人であることの確認は、試験当日の、パスポート等顔写真付きの公的な書類による本人確認、結果通知書に掲載する顔写真の撮影などの対応策により行った。

② 発生した問題等（不正行為の発覚を含む。）の内容とその対応
上記①の対応策により、不正の発生を防止することができた。

③ ②を踏まえた新たな改善策の内容

引き続き、業務委託先を通じて、上記①の対応策を各試験会場にて徹底する。

ウ 試験実施時

① 当初からの取組状況（当初の対応策・不正防止策）

受験者規模に応じた適正な人数の試験監督者の配置、試験室入場前の持ち物検査の実施（試験室への私物持ち込み禁止）、試験室内の席と席との間のパーテーション設置、監督員による監視カメラと目視による確認などの対応策により、不正防止を図った。

② 発生した問題等（不正行為の発覚を含む。）の内容とその対応

国内の試験会場において、受験中にスマートフォンを操作した事例が2件発生した。監督員がその場で試験を中止し、該当受験者を退出させ、結果通知書を交付しない措置をとった。

③ ②を踏まえた新たな改善策の内容

引き続き、業務委託先を通じて、上記①の対応策を各試験会場にて徹底する。

エ 合格通知、合格発表、合格証明書交付・発行段階

① 当初からの取組状況（当初の対応策・不正防止策）

在留資格諸申請における不正防止のため、結果通知書の真偽確認ができるデータベースを用意したほか、結果通知書の真偽確認に関する外部からの照会への対応を行った。

② 発生した問題等（不正行為の発覚を含む。）の内容とその対応
上記①の対応策により、不正の発生を防止することができた。

③ ②を踏まえた新たな改善策の内容

引き続き、データベースの整備と活用を進める。

(2) 不正等の発覚による合格取消の有無（有の場合は、その数及びそれぞれの発覚した不正等の内容）

令和3年度の不正行為件数は上記ウ②のとおり2件。いずれも受験時に発覚し、試験を中止させた上で、結果通知は交付していない。

1 2 事業年度途中で、試験問題について、大きな改善を行った場合は、その改善内容、改善の必要性

試験問題の事前及び事後の検証において、大きな改善の必要性は確認されなかった。

1 3 試験実施に当たっての試験実施国政府との調整状況及び今後の課題

試験実施前に、出入国在留管理庁を通じて試験実施政府に実施計画を提出し、了解を得て実施している。

1 4 海外における試験実施国・試験実施回数、国内における地方都市での実施・試験実施回数の拡大に向けた取組内容

海外における試験実施国・試験実施回数については、次のとおり。令和4年1月からインド（グルグラム）、スリランカ（コロンボ）において開始し、また同年3月からウズベキスタン（タシケント）で試験を開始した。そのほか、令和3年度中にインドネシアの試験実施都市を1都市（スマラン）追加した。

国内については、令和2年度に引き続き、47都道府県で実施した。

6回実施：フィリピン、インドネシア、カンボジア、モンゴル、タイ

5回実施：ネパール

2回実施：インド、スリランカ

1 回実施：ウズベキスタン

1.5 新型コロナウイルス感染症の拡大による試験実施への影響及びコロナ禍での国内外における試験実施に向けた感染拡大防止措置の内容

試験実施への影響としては、各国での新型コロナウイルス感染症拡大防止措置にのっとり、一部の国・都市における試験を中止とした試験回があったほか、試験会場内の受験席の間隔を各国政府の方針に基づく距離とするよう減席する対応をとった。また、試験実施に向けた感染拡大防止措置としては以下の対策を講じた。

ア 試験申込段階（受験案内等での事前周知等）

専用ウェブサイトで感染防止対策について告知を行った。

イ 試験実施時（当日の試験会場における対応等）

以下の取組を実施した。

- ・受験者及び試験監督員の試験会場内でのマスク着用（又は鼻と口元を布で覆う）
- ・試験会場入口での受験者の手指の消毒
- ・体調不良の受験者は受験禁止とし、無料キャンセル処理を実施
- ・飛沫飛散防止のため試験会場内での私語禁止
- ・試験室内の定期的な換気
- ・受験者が触れる試験室内の機器類の消毒（受験ごとの実施）
- ・受験席の間隔を各国政府の方針に基づく距離となるよう減席

1.6 その他、試験実施全般に関して生じた問題とそれに対する改善措置

(1) 2022年2月－3月テストにおける採点処理の誤りと判定の訂正

2022年2月－3月テストにおいて、採点に係る処理に誤りがあったことが判明した。この結果、以下の通り受験結果に影響が生じた。

ア 本来、基準点に到達していたが、未到達と通知された受験者が77名

イ それ以外で通知された点数に変更が生じた受験者が586名

(2) 上記(1)アおよびイの受験者への対応について

ア 本来基準点に到達していたが、未到達と通知された受験者77名及びそれ以外で点数に変更が生じた受験者586名に対しては、個別に連絡を行い、結果通知書を再発行した。

イ 誤って未到達と通知された受験者77名のうち、すでに2022年5月－6月テスト再受験をした受験者に対しては、受験料等返金の手続きを行った。

(3) 原因と再発防止策について

ア 今回の誤りの原因は、プロメトリック株式会社において採点処理を行う過程で生じた人為的なミスであった。なお、過去に実施された本試験に関しては、同様の誤りがなかったことを確認済み。

イ 二度と同様な事態が生じないように、同社に対する指導監督等のより一層の徹底とともに、同社及び関連する専門家と協力しながら、採点処理の運用管理体制、チェック体制の強化を進める。

以上

【試験実施概要】

分野： 日本語試験

試験区分：国際交流基金日本語基礎テスト（JFT-Basic）

項番	試験実施場所		試験実施年月	合格発表日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	試験実施方法	試験言語	受験料
	国	都市								
1	フィリピン	マニラ、セブ、ダバオ	2021年5月-6月	2021年6月24日	747	225	30.1	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
2	フィリピン	マニラ、セブ、ダバオ	2021年7月-8月	2021年8月30日	677	189	27.9	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
3	フィリピン	マニラ、セブ、ダバオ	2021年9月-10月	2021年11月1日	431	137	31.8	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
4	フィリピン	マニラ、セブ、ダバオ	2021年11月-12月	2022年1月7日	567	164	28.9	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
5	フィリピン	マニラ、セブ、ダバオ	2022年1月-2月	2022年2月28日	231	87	37.7	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
6	フィリピン	マニラ、セブ、ダバオ	2022年2月-3月	2022年4月7日	282	97	34.4	CBT	日本語, 指示文は英語	1,500PHP
7	カンボジア	プノンペン	2021年5月	2021年6月24日	73	21	28.8	CBT	日本語, 指示文はクメール語	22USD
8	カンボジア	プノンペン	2021年7月	2021年8月30日	243	39	16.0	CBT	日本語, 指示文はクメール語	22USD
9	カンボジア	プノンペン	2021年9月-10月	2021年11月1日	212	32	15.1	CBT	日本語, 指示文はクメール語	22USD
10	カンボジア	プノンペン	2021年11月-12月	2022年1月7日	154	37	24.0	CBT	日本語, 指示文はクメール語	22USD
11	カンボジア	プノンペン	2022年1月-2月	2022年2月28日	115	34	29.6	CBT	日本語, 指示文はクメール語	22USD

12	カンボジア	プノンペン	2022年2月-3月	2022年4月7日	115	37	32.2	CBT	日本語, 指示文は クメール語	22USD
13	モンゴル	ウランバートル	2021年5月	2021年6月24日	89	34	38.2	CBT	日本語, 指示文は モンゴル語	78,000MNT
14	モンゴル	ウランバートル	2021年7月-8月	2021年8月30日	66	31	47.0	CBT	日本語, 指示文は モンゴル語	78,000MNT
15	モンゴル	ウランバートル	2021年9月-10月	2021年11月1日	53	27	50.9	CBT	日本語, 指示文は モンゴル語	78,000MNT
16	モンゴル	ウランバートル	2021年11月-12月	2022年1月7日	68	29	42.6	CBT	日本語, 指示文は モンゴル語	78,000MNT
17	モンゴル	ウランバートル	2022年1月-2月	2022年2月28日	51	25	49.0	CBT	日本語, 指示文は モンゴル語	78,000MNT
18	モンゴル	ウランバートル	2022年2月-3月	2022年4月7日	28	12	42.9	CBT	日本語, 指示文は モンゴル語	78,000MNT
19	ネパール	カトマンズ	2021年7月-8月	2021年8月30日	1,232	519	42.1	CBT	日本語, 指示文は ネパール語	2,500NPR
20	ネパール	カトマンズ	2021年9月-10月	2021年11月1日	523	167	31.9	CBT	日本語, 指示文は ネパール語	2,500NPR
21	ネパール	カトマンズ	2021年11月-12月	2022年1月7日	303	85	28.1	CBT	日本語, 指示文は ネパール語	2,500NPR
22	ネパール	カトマンズ	2022年1月-2月	2022年2月28日	420	129	30.7	CBT	日本語, 指示文は ネパール語	2,500NPR
23	ネパール	カトマンズ	2022年2月-3月	2022年4月7日	239	87	36.4	CBT	日本語, 指示文は ネパール語	2,500NPR
24	インドネシア	ジャカルタ スラバヤ バンドン ジョグジャカルタ メダン	2021年5月-6月	2021年6月24日	3,494	1,395	39.9	CBT	日本語, 指示文は インドネシア語	400,000IDR
25	インドネシア	メダン	2021年7月	2021年8月30日	14	5	35.7	CBT	日本語, 指示文は インドネシア語	400,000IDR

26	インドネシア	ジャカルタ スラバヤ バンドン ジョグジャカルタ メダン	2021年9月-10月	2021年11月1日	1,934	979	50.6	CBT	日本語, 指示文は インドネシア語	400,000IDR
27	インドネシア	ジャカルタ スラバヤ バンドン ジョグジャカルタ メダン	2021年11月-12月	2022年1月7日	4,495	1,912	42.5	CBT	日本語, 指示文は インドネシア語	400,000IDR
28	インドネシア	ジャカルタ スラバヤ バンドン ジョグジャカル メダン スマラン	2022年1月-2月	2022年2月28日	2,686	1,112	41.4	CBT	日本語, 指示文は インドネシア語	400,000IDR
29	インドネシア	ジャカルタ スラバヤ バンドン ジョグジャカルタ メダン スマラン	2022年2月-3月	2022年4月7日	2,050	859	41.9	CBT	日本語, 指示文は インドネシア語	400,000IDR
30	タイ	バンコク	2021年5月	2021年6月24日	64	17	26.6	CBT	日本語, 指示文は タイ語	1,000THB
31	タイ	バンコク	2021年7月-8月	2021年8月30日	69	25	36.2	CBT	日本語, 指示文は タイ語	1,000THB
32	タイ	バンコク	2021年9月-10月	2021年11月1日	124	38	30.6	CBT	日本語, 指示文は タイ語	1,000THB
33	タイ	バンコク	2021年11月-12月	2022年1月7日	137	46	33.6	CBT	日本語, 指示文は タイ語	1,000THB
34	タイ	バンコク	2022年1月-2月	2022年2月28日	44	21	47.7	CBT	日本語, 指示文は タイ語	1,000THB
35	タイ	バンコク	2022年3月	2022年4月7日	158	69	43.7	CBT	日本語, 指示文は タイ語	1,000THB
36	インド	グルگرام	2022年1月-2月	2022年2月28日	45	28	62.2	CBT	日本語, 指示文は 英語	2,478INR

37	インド	グルグラム	2022年2月-3月	2022年4月7日	26	10	38.5	CBT	日本語, 指示文は 英語	2,478INR
38	スリランカ	コロンボ	2022年1月-2月	2022年2月28日	118	48	40.7	CBT	日本語, 指示文は 英語	6,300LKR
39	スリランカ	コロンボ	2022年2月-3月	2022年4月7日	77	29	37.7	CBT	日本語, 指示文は 英語	6,300LKR
40	ウズベキスタン	タシケント	2022年3月	2022年4月7日	34	4	11.8	CBT	日本語, 指示文は 英語	340,000UZS
41	日本	47都道府県	2021年5月-6月	2021年6月24日	2,055	993	48.3	CBT	日本語, 指示文は 英語	7,000円
42	日本	47都道府県	2021年7月-8月	2021年8月30日	1,097	530	48.3	CBT	日本語, 指示文は 英語	7,000円
43	日本	47都道府県	2021年9月-10月	2021年11月1日	1,259	563	44.7	CBT	日本語, 指示文は 英語	7,000円
44	日本	47都道府県	2021年11月-12月	2022年1月7日	1,279	613	47.9	CBT	日本語, 指示文は 英語	7,000円
45	日本	47都道府県	2022年1月-2月	2022年2月28日	978	466	47.6	CBT	日本語, 指示文は 英語	7,000円
46	日本	47都道府県	2022年2月-3月	2022年4月7日	1,440	683	47.4	CBT	日本語, 指示文は 英語	7,000円